

県立総合技術研究所と京都大学が共同開発

～カンキツ新品種「瑞季（みずき）」の新技术セミナーを開催～

広島県立総合技術研究所 農業技術センターと国立大学法人京都大学が共同で開発した新品種のカンキツ「瑞季」について、苗木の普及が広島県果実農業協同組合連合会により、令和3年3月から始まります。

この度、生産拡大に向けて、県内かんきつ生産者に「瑞季」を紹介する新技术セミナー・試食会を開催します。

いずれの会場でも、果実の撮影・試食や、育成者への取材等が可能です。（詳細は、取材窓口へご相談ください。）

《新技术セミナー・試食会》

【日時・場所】

JA 呉 江能営農経済センター（江田島市大柿町飛渡瀬 60-1）

令和2年6月10日（水） 11:00～11:30

JA 呉 本所（呉市西中央1丁目2番25号）

令和2年6月10日（水） 15:00～15:30

JA 三原 柑橘事業本部（尾道市瀬戸田町中野 408-8）

令和2年6月10日（水） 13:00～14:00

【内容】

- 1 講演:「瑞季」の品種特性と栽培上の留意点
- 2 試食
- 3 意見交換, アンケート



カンキツ新品種「瑞季」

令和元年11月20日品種登録



《瑞季の特徴》

- ・食べごろは、カンキツ等の国産果物の出荷が減少し、輸入果物が増える4月中旬以降
- ・糖度12度以上、酸度1.1%で、グレープフルーツより糖度が高く、苦みが少ない爽やかな甘さ
- ・種がほとんどなく、カットフルーツ向き
- ・大きさは、ソフトボール大(500g程度)
- ・「水晶文旦」と「サザンイエロー」(「谷川文旦」×「無核紀州」)の掛け合わせ
- ・カンキツかいよう病の発生は少なく、隔年結果性は弱いことから生産者が栽培しやすい

※本研究の一部は、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業において実施しました。

取材対応

取材窓口:(当品種について)広島県立総合技術研究所 農業技術センター果樹研究部(池田) 0846-45-1225

総合窓口:(その他総合技術研究所の概要について)広島県立総合技術研究所企画部(梁井) 082-223-1200